

診療情報を利用した臨床研究について

平塚共済病院循環器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究対象者にあたると思われる方の中で、ご質問のある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとお思いになりましたら、遠慮なく下記問い合わせ先までご連絡下さい。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

（１）研究概要について

研究課題名：急性冠症候群に対するエキシマレーザーの使用における臨床背景や病変性状が臨床転帰に与える影響についての考察

研究期間： 倫理審査委員会承認後 ～ 2025 年 12 月 31 日

実施責任者：平塚共済病院 循環器内科 大西祐子

（２）対象となる方

2017 年 1 月-2024 年 12 月までの期間に急性冠症候群で当院に入院し経皮的血行再建術を行われた患者さんを対象としています

（３）研究の意義・目的

急性冠症候群は動脈硬化性病変の破綻とそれに伴う血栓形成により急性に動脈閉塞あるいは高度狭窄をきたし、心筋の虚血壊死に至る疾患です。もともと欧米に多い疾患でしたが近年は本邦でも発症率が上がってきており、データによりばらつきはありますがおよそ 10 万人あたり 50 人-100 人程度が発症すると報告されております。

近年では経皮的血行再建術（カテーテル治療）の発達により治療成績は改善してきているものの、まだ複雑病変（多量の血栓や石灰化を伴う病変などのこと）では不十分です。

一方、エキシマレーザーは血栓を蒸散することで特に急性冠症候群での成績を改善することが期待されていますが、まだ大規模な臨床研究も少なく具体的な有効性や転帰については十分な知見が得られていません。

そこで、本研究では当院に急性冠症候群で搬送された患者さんの臨床背景や病変性状および転帰を評価することで、急性冠症候群に対するエキシマレーザーの有用性について検討することを目的としています。

（４）研究の方法

研究の方法は単施設後ろ向き観察研究という形で行う予定です。これはすでに当院で治療を行われた患者さんの情報をもとに行うものです。

具体的には、解析対象となった患者さんの病歴や検査結果(性別、年齢、身長、体重、内服薬、既往歴、採血結果等)、カテーテル手技の詳細、臨床転帰について電子カルテ上で評価します。本研究は過去の臨床データを参照しますので、患者さんに新たな負担をお願いする事はありません。

（５）個人情報の保護について

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定されないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後 2025 年 12 月 31 日まで保存いたします。その後、個人が特定できる画像・臨床データに関しては破棄されます。

（６）研究成果の公表について

この研究成果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

（７）費用について

患者様にご負担いただく費用は、ありません。

（８）問い合わせ等の連絡先

平塚共済病院 循環器内科 大西祐子

（ 対応可能時間：平日 9 時～17 時 ）

電話：0463-32-1950（代表）